

## ●広告料金表抜粋

掲載スペース	カラー	モノクロ	サイズ(天地×左右mm)
第1ブロック	490,000円	——	297×210mm
記事対向1頁	490,000円	——	297×210mm
1頁	450,000円	185,000円	297×210mm
1/2頁	250,000円	95,000円	132×185mm
記事中縦1/3頁(後付)	180,000円	——	272×56mm

※広告料金には別途消費税がかかります。

※広告企画関連広告は紹介記事の周辺に集中して掲載いたします。

※その他のスペース、タイアップ広告については、お問い合わせ下さい。

## ●媒体概要

創刊 ..... 1956年8月  
販売方法 ..... 全国書店販売  
定価 ..... 1,944円(税別)  
製本・開き ..... あじろとじ・左開き

## ●読者層

建築・店舗設計事務所 ..... 46.7%  
店舗設計施工会社 ..... 26.5%  
建設会社 ..... 8.5%  
小売店・飲食店 ..... 7.2%  
その他 ..... 11.1%

取り扱い広告代理店

## 株式会社 商店建築社

東京本社 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-3 TEL : 03-3363-5760

大阪支社 / 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-9-28 TEL : 06-6251-6523

<http://www.shotenkenchiku.com>

## 広告企画書

2019年10月28日発売号

Advertising Project Proposal  
November 2019

# 11

# 商店建築

SHOTENKENCHIKU

## 11月号のラインナップ

トイレ&パウダールーム  
塗装・塗材

# 広告企画書

Advertising Project Proposal

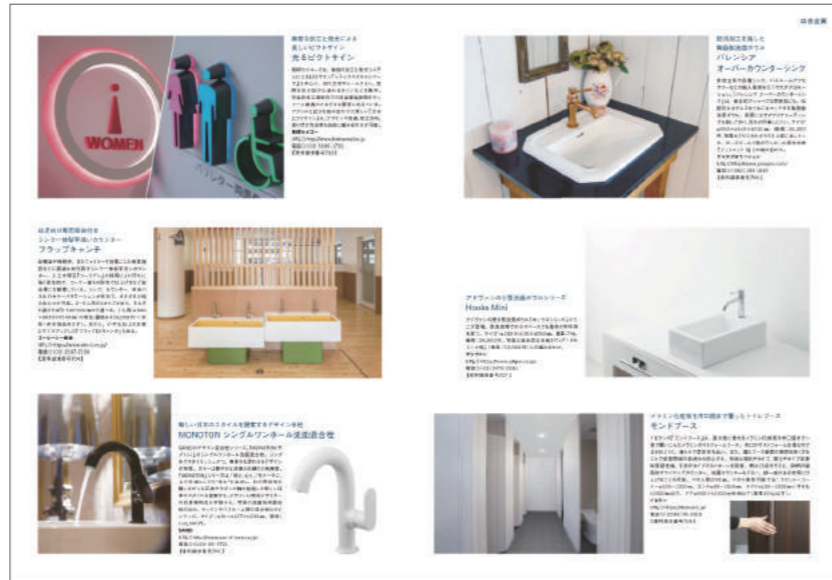
- 発売日 ..... 2019年10月28日
- 広告申込締切日 ..... 9月17日
- 広告原稿締切日 ..... 9月20日

## ●広告企画

# トイレ&パウダールーム

デザイン性、機能性の両面を兼ね備えた最新の設備機器を紹介

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催、2025年大阪万博開催に向け、また、海外からの旅行者の増加を受けて、店舗や商業施設はもちろん、交通施設を始めとする幅広いパブリックスペースにおいて、快適なトイレ&パウダールームが数多く出てきました。メーカー各社からは、デザイン性や機能性に優れた衛生陶器・水栓金具・手洗いボウル・ミラーなどの設備機器が発売されています。本特集では、トイレとパウダールームの最新設備機器を取り上げ、設計者・店舗オーナーへの資料とします。



掲載イメージ

### 広告対象製品

便器/水栓金具/洗面ボウル/洗面カウンター/ミラー/ハンドドライヤー/ペーパーホルダー/収納棚/ベビーベッド/チェア/温水洗浄便座/トイレブース/内装用建材/消臭・芳香設備/擬音装置/暖房装置/ユニバーサルデザイントイレ/省エネ設備 ほか

## 今後の予定企画

月号	発売日	申込締切日	原稿締切日	広告企画
12月号	11月28日	10月15日	10月21日	ファサード&ルーフサイン (業種特集：カフェ)

## 広告企画とは？

広告企画では、毎号テーマを設け、デザインや機能性に優れた店舗用建材や設備製品を1ページあたり3~4点のスペースで多数紹介します。掲載内容は、製品・施工事例写真(1~2点)、製品紹介文(300字以内)、会社情報のほか、読者が簡単に資料請求を行える「資料請求番号」を記載します。



## ●広告企画

# 塗装・塗材

左官やデコラティブペイントなど、塗装技術や塗材を紹介

塗材の種類や塗り方、照明の当たり方や照度・色温度によって、空間の印象や見え方は大きく変わります。昨今、高い意匠性に加え、耐久性・防水性・施工性・汎用性などに優れた新しい塗材や左官材も増えています。また、人や環境に優しい自然塗料も根強い人気があります。さらに、疑似仕上げ、エイジング、スペシャルフィニッシュといったデコラティブペイントも非日常性や物語性を演出する室内装飾として、来店者にインパクトやヒーリング効果をもたらします。本企画では、アースカラー、メタリック系、パール系、和の表情や重厚な質感を表現する漆喰やエイジングなど、近年のトレンドを反映したさまざまな塗料、左官材などの塗材から塗装技術まで、施工事例とともに紹介します。

### 広告対象製品

塗料/塗材/左官材/漆喰/珪藻土/デコラティブペイント/特殊塗装技術/エイジング加工/メタリック塗装/錆仕上げ/壁画 ほか



掲載イメージ



掲載イメージ

# 商店建築

# 11

月号

編集・予定企画

連載・予定企画

## 業種特集 「ホテル大特集」

ここ3年ほど大人気のホテル特集ですが、その勢いは、まだまだ続いています。東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博を起爆剤としつつ、訪日外国人数が年々増加していくと見込まれています。ホテル、ホステル、旅館など宿泊施設の開業ラッシュが続いています。開発のポイントは、客単価の高低にかかわらず、いかに個性を持たせて、価格競争に巻き込まれないような価値を生み出せるかです。今回のホテル特集では、以下のようなホテルを掲載予定です。

- ・完全会員制のアーバンリゾートホテル
- ・都市部に開業が相次いでいる宿泊特化型ホテル
- ・「現代アート」「バー」など、そのテーマに沿って計画されたコンセプトホテル
- ・京都にオープンした、日本文化を感じさせる新築ホテル
- ・二段ベッドなどを取り入れたホステルでありながら、共用部のレストランやカフェが充実した、リーズナブルなライフスタイル型宿泊施設
- ・町家や寺など、既にそこにある価値を生かして泊まる稀少性の高い宿泊施設

## 特別企画 「京都インテリアMAP」

この数年、京都では、国内外からの旅行者を意識して、ホテル、カフェ、ブティックなど、注目の店舗が次々とオープンしています。日本の中でも、京都は独自の個性やアイデンティティを持った都市と言えます。そうした文化的背景をインテリアデザインに援用しながらつくっていくことで、魅力的な店舗デザインが生まれています。この企画では、近年、小誌で掲載した注目の店舗を編集部がセレクトし、地図上にプロットします。読者の方々の「京都に行ったら、魅力的な店舗デザインをまとめて見学したい」という声にお応えします。さらに、その内容は、後日、ウェブ上の地図としても公開予定です。

## 「日本商空間デザイン史」

デザイン批評家で編集者の鈴木紀慶氏が、「1980年以降」を対象に、店舗インテリアデザインの歴史を書き起こしていきます。1980年までのインテリアデザイン史は、同氏や他の研究者やデザイナーが執筆しています。しかし、それ以降の歴史はまだあまり整理されていません。そうした未踏の領域へ、史的視点から切り込んでいきます。

## 「東京ヤミ市 建築史 ～マーケットと横丁の起源を歩く」

私たちは今、横丁でお酒を飲んだり、細い路地と小さな無数の店が絡み合う界隈性あるエリアを歩き、「なんだか、ちょっと怪しげ。でも人間味を感じるし、居心地がいい」なんて言いながら、楽しんでいます。このようなエリアを都市史研究家の石樽督和氏と歩き、フィールドワークします。そして、同氏から史実に基づくレクチャーも行います。